

令和2年度 榛生昇陽高等学校 学校評価総括表

教育目標	個性豊かで、想像力に富み、自信と誇りのもてる生徒の育成		総合評価
運営方針	「生き抜く力」を養い、自信と誇りのもてる生徒の育成（生徒の変容）		
	学び続けることで、知識を豊かにし、コミュニケーション力の向上を図る（教師力の向上）		
	各分掌や学年が機能するよう、部長・主任がリーダーシップを発揮し、意思の疎通を図るとともに、適切にアドバイスする（組織力の充実）		
	報告・連絡・相談の徹底と迅速な対応に心がけるとともに、保護者への連絡を密にし、家庭との連携を図る（リスクマネジメント）		
	各科、コース、部活動、生徒会等が連携して地域交流を積極的に展開し、社会に貢献する態度を養う（地域連携の推進）		
	業務改善の推進と効率的な業務の遂行により気持ちよく働くことができる環境をつくり出す（職員の健康管理）		
○令和元年度の成果と課題	本年度重点目標	具 体 的 目 標	B
生徒の基本的な生活習慣について、一定の成果はあったが、遅刻指導の改善などの重点的な取組は、次年度以降も継続指導が必要である。 また、学校全体の規範意識も向上しているようである。さらに指導方法の改善が必要である。	基本的な生活習慣を確立し、正しい判断力と強い意志を養い、規範意識を高め自主的な生活態度を育成する	ルールを守る心を育て、礼儀やマナーを身に付けさせる。 自らの健康を保持増進できる実践力を育て、安全や時間を管理する力を養う。 最後まで、あきらめしないで、努力を続ける力を養う。	
	基礎的・基本的な知識・技能の習得と定着により、着実に学力を向上させる	観点別評価実施に向け、PDCAサイクルを確認し、より良きものに改善する。 学んだことを活用できる力の育成と主体的・対話的で深い学びを実践する。 学習支援を必要とする生徒への対応をする。	
生徒の希望進路を実現させるために、職員の意識の向上が必要であり、学習方法の改善・工夫や家庭学習を充実させる取組を発展させていく 地域連携については、これまでの取組に対して、一定高い評価は得られているが、学校全体としての参加体制にはなっていない。今後、こども・福祉科（総合学科）や専攻科の設置、宇陀高校開校に向けて、さらに地域との交流を深め、広報活動をもっと積極的に行う必要がある。	自己理解に基づき、自己実現への積極的な態度を育成する	キャリア教育の推進と充実を図る。 各種検定の受検および資格取得の推進する。 進学・就職の実力養成講座を充実させる。 個に応じた指導を積極的に取り組む。	
学年や分掌が機能するように、主任や部長がリーダーシップを発揮し、業務の偏りをなくし、分散することで、業務改善を進める必要がある。	命を大切に、他者への思いやりの気持ちに満ちた豊かな心を育む	介護施設や教育施設等への実習を充実させ、命の大切さや思いやりの心を育む。 人権尊重の精神と生命に対する畏敬の念を深め、他者とともに主体的に生きる能力と態度を養う。	
	自発的・自主的な態度で自立的に行動できる生徒を育成し、自信と誇りを持たせる	地域との交流を積極的に推進したり、ボランティア活動に積極的に参加したりするなど、社会に貢献する態度を養う。 生徒会・各種委員会活動や部活動を活性化させ、達成感をもったり、社会に貢献する態度を養う。	
	業務改善の推進と効率的な業務の遂行により気持ちよく働くことができる環境をつくり出す	校務の効率化と情報化を図るとともに、情報セキュリティの徹底とサポート体制を確立していく。 学年や分掌の役割を明確にし、各担当に責任を持たせることで、業務の偏りをなくし気持ちよく働くことができる環境を作る。	